

2016 ジャカランダフェスティバル 市民感謝デーの開催！

今年で3回目を迎えるジャカランダフェスティバルは、過去最大規模のコンセプトのもと、平成28年6月19日(日)に開催致しました。例年より開花が早かったこともあり、ジャカランダの見物者も6月中旬には3,000名を超えました。

フェスティバル当日は、多少薄日が差す程の穏やかな天候に恵まれ、出店数は23店となりました。

第1回より好評を博している①田中歯科器材店による「スタンプラリー」、②フェルメールブルーのカクテルの配布、③医療モールについては、何れも最大規模となりました。スタンプラリーも用意した景品1,000個すべてが配布されました。今回は医療モールとして7つのブースを設け、常に行列が出来る程の人気の、約1,000名の方が参加されました。また、フェルメールブルーのカクテル(ノンアルコール)約500杯は、30分で終了するなど大変人気を博しました。

各ブースや、グルメ企画と

して特別メニューを提供した学生食堂やメルキュールホテル横須賀の海軍カレーにも人が溢れていました。

また、日野皓正氏のスペシャルライブでは、整理券の配布1時間前から300名を超す長蛇の列ができ、一番乗りの方は朝7時に来られたそうです。

今回は、大講堂に収容できない方のために、第1小講堂にライブ映像を流す「パブリックビューイング」を用意し、大講堂合せて約1,000名の方がライブを楽しめるようになりました。

日野皓正氏のライブは、一曲目から鬼気迫る演奏で、その圧倒的なカリスマ性と存在感は、素晴らしいの一言につきましました。時は瞬く間に過ぎ、ラストを飾る「NEVER FORGET 311」となりました。被災地の人々への思い、そして今の時代を生きる日本人としての思いを詰め込んだこの1曲、実は今回のフェスティバルで伝えたかった「震災から5年～私達は決して忘れない」というメッセージを

象徴する楽曲でした。

ライブ終了後、主催者を代表し鹿島理事長よりフェスティバルへの来場のお礼とその意義が語られました。また今回はジャカランダで有名な宮崎県日南市の観光協会事務局長の河野良則様にお越しいただき、「ジャカランダの数は私どものほうが多くありますが、御校のジャカランダは圧巻です。枝ぶりや花つきもとても素晴らしい。」とのお言葉を頂きました。

スペシャル対談では、小泉進次郎代議士が登壇され、ホスト役である鹿島理事長より、お二人に本日のご感想や、お互いの印象などを伺いながら、メインテーマである「震災・復興」について語っていただきました。お二人ともに被災地への復興支援を行い、それぞれ精力的にご活動されてきました。特に小泉代議士は元復興大臣政務官でもあり被災地への想いは言うまでもありません。この対談がきっかけとなり「決して忘れない」という想いを共感・共有していただければ幸いです。日野氏と小泉代議士との

絶妙なやりとりで会場を大いに盛り上げて頂きました。まさに「世紀の、もしくは夢の」この対談を、直接ご覧になられた方々は本当に良い思い出になったのではないのでしょうか。帰路の誘導に立ったスタッフには「とても良かった」、「素晴らしかった」等の声が寄せられ、ジャカランダフェスティバルは大盛況のうちに幕を閉じることができました。

今回、NHKよりフェスティバルの取材申入れがあり、NHK総合「ひるまえほっと：笑顔みつけ隊」で紹介され、番組の最後に「歯を健康にして、地域を笑顔にするぞ〜!!」と元氣なスタッフの掛け声を取り上げていただきました。

今年は、フェスティバル来場者3,260名を含め約1万人の方々に本学のジャカランダをご覧いただきました。また来年も素晴らしい花を咲かせてくれることを願っています。



平成 27 年度決算について

平成 27 年度決算は、平成 28 年 5 月 20 日（金）に監事の監査報告を受けて、平成 28 年 5 月 26 日（木）に理事会で議決され同日開催の評議員会で報告されました。

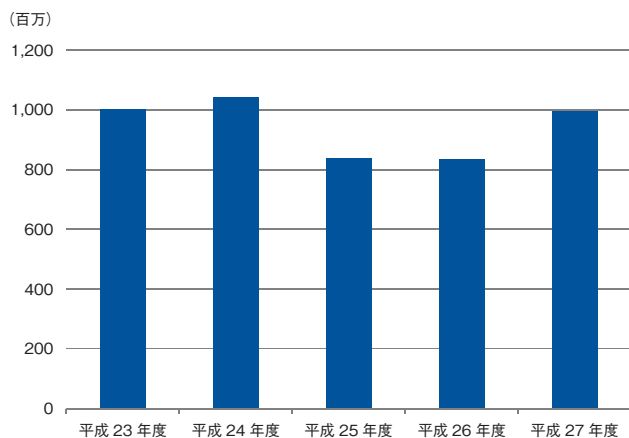
歯学部の新入生数増を主要因とした学生生徒等納付金の増収、及び附属病院、横浜クリニックの医療収入の大幅な増収（前年比約 1 億 9,000 万円の増収）により、教育活動収入は前年比で約 2 億 5,000 万円の増収となりました。人件費、医療経費の増に伴う支出増はありましたが、経常収支は 4 億 1,000 万円の黒字を計上し、平成 23 年度から引き続き 5 期連続での黒字決算と

なりました。

また、教育活動資金収支差額（教育研究キャッシュフロー）は平成 22 年度より 6 期連続で黒字を計上しており、財務面でも健全な経営状態を維持しております。本学の経営状態は、日本私立大学振興・共済事業団が定める「定量的な経営判断指標に基づく経営状態」の指標で測ると、正常な状態とされる A ランク（A3）に格付けされます。

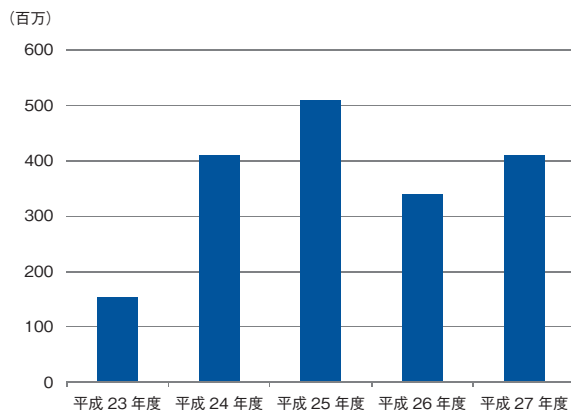
なお、神奈川歯科大学及び神奈川歯科大学短期大学部のホームページにも事業報告や詳細な財務報告を公開しておりますので、ご覧下さい。

教育活動資金収支差額（大学として体を成すための必要最低条件）



※平成 23～26 年度の数字は旧会計基準における「教育研究活動によるキャッシュフロー」を用いています。

経常収支差額（大学としての持続性を担保する経営判断指標）



※平成 23～26 年度の経常収支は、消費収支計算書を新会計基準に組み替えて算出したものです。

1. 事業活動収支計算書 27 年 4 月 1 日から 28 年 3 月 31 日まで (単位 円)				
事業活動収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金	3,399,290,000	3,399,429,000	△ 139,000
教育活動収入の部	手数料	43,340,000	45,260,355	△ 1,920,355
	寄付金	7,650,000	14,746,000	△ 7,096,000
	経常費等補助金	481,990,000	482,081,860	△ 91,860
	付随事業収入	30,090,000	44,981,786	△ 14,891,786
	医療収入	2,562,000,000	2,614,055,093	△ 52,055,093
	雑収入	358,410,000	382,028,489	△ 23,618,489
	教育活動収入計	6,882,770,000	6,982,582,583	△ 99,812,583
	人件費	3,927,890,000	3,915,963,681	11,926,319
	教育研究経費	1,891,634,958	1,890,783,785	851,173
	管理経費	836,720,075	773,155,503	63,564,572
教育活動支出の部	徴収不能額等	5,000,000	95,772	4,904,228
	教育活動支出計	6,661,245,033	6,579,998,741	81,246,292
	教育活動収支差額	221,524,967	402,583,842	△ 181,058,875
	受取利息・配当金	7,310,000	7,883,939	△ 573,939
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	7,310,000	7,883,939	△ 573,939
	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	7,310,000	7,883,939	△ 573,939
特別収支	経常収支差額	228,834,967	410,467,781	△ 181,632,814
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	39,220,000	44,711,704	△ 5,491,704
	施設設備寄付金	22,000,000	20,610,000	1,390,000
	現物寄付	4,070,000	5,081,704	△ 1,011,704
	施設設備補助金	13,150,000	19,020,000	△ 5,870,000
	特別収入合計	39,220,000	44,711,704	△ 5,491,704
	資産処分差額	4,470,000	4,468,924	1,076
	その他の特別支出合計	0	0	0
	特別支出合計	4,470,000	4,468,924	1,076
[予備費]	特別収支差額	34,750,000	40,242,780	△ 5,492,780
	(104,265,033)	15,734,967		15,734,967
	基本金組入前当年度収支差額	247,850,000	450,710,561	△ 202,860,561
	基本金組入額合計	△ 3,063,400,000	△ 3,035,272,530	△ 28,127,470
	当年度収支差額	△ 2,815,550,000	△ 2,584,561,969	△ 230,988,031
	前年度繰越収支差額	△ 6,000,290,000	△ 6,000,288,878	△ 1,122
	基本金取崩額	109,570,000	61,817,378	47,752,622
	翌年度繰越収支差額	△ 8,706,270,000	△ 8,523,033,469	△ 183,236,531
	(参考)			
	事業活動収入計	6,929,300,000	7,035,178,226	△ 105,878,226
	事業活動支出計	6,681,450,000	6,584,467,665	96,982,335

2. 資金収支計算書 27 年 4 月 1 日から 28 年 3 月 31 日まで (単位 円)			
収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	3,399,290,000	3,399,429,000	△ 139,000
手数料収入	43,340,000	45,260,355	△ 1,920,355
寄付金収入	29,650,000	35,356,000	△ 5,706,000
補助金収入	495,140,000	501,101,860	△ 5,961,860
付随事業・収益事業収入	30,090,000	44,981,786	△ 14,891,786
医療収入	2,562,000,000	2,614,055,093	△ 52,055,093
受取利息・配当金収入	7,310,000	7,883,939	△ 573,939
雑収入	358,410,000	381,735,649	△ 23,325,649
前受金収入	440,950,000	496,925,000	△ 55,975,000
その他の収入	1,783,210,000	1,637,354,522	145,855,478
資金収入調整勘定	△ 952,730,000	△ 901,576,993	△ 51,153,007
前年度繰越支払資金	5,875,040,000	5,875,044,698	
収入の部合計	14,071,700,000	14,137,550,909	△ 65,850,909
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,956,680,000	3,942,224,805	14,455,195
教育研究経費支出	1,360,034,958	1,354,395,429	5,639,529
管理経費支出	741,720,075	678,418,985	63,301,090
施設関係支出	2,741,549,526	2,722,061,164	19,488,362
設備関係支出	454,975,708	462,942,640	△ 7,966,932
資産運用支出	0	25,209	△ 25,209
その他の支出	1,621,433,000	1,528,424,123	93,008,877
[予備費]	(113,013,267)		
	6,986,733		6,986,733
資金支出調整勘定	△ 460,770,000	△ 358,753,066	△ 102,016,934
翌年度繰越支払資金	3,649,090,000	3,807,811,620	△ 158,721,620
支出の部合計	14,071,700,000	14,137,550,909	△ 65,850,909

3. 貸借対照表 28 年 3 月 31 日現在 (単位 円)				
資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	25,247,551,502	22,711,763,658	2,535,787,844	
有形固定資産	18,350,642,404	15,790,743,485	2,559,898,919	
特定資産	6,875,354,970	6,901,590,885	△ 26,235,915	
その他の固定資産	21,554,128	19,429,288	2,124,840	
流動資産	4,314,508,270	6,435,190,841	△ 2,120,682,571	
資産の部合計	29,562,059,772	29,146,954,499	415,105,273	
負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	2,217,866,093	2,228,138,852	△ 10,272,759	
流動負債	882,567,367	907,899,896	△ 25,332,529	
負債の部合計	3,100,433,460	3,136,038,748	△ 35,605,288	
純資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
第 1 号基本金	34,234,659,781	31,261,204,629	2,973,455,152	
第 3 号基本金	86,000,000	86,000,000	0	
第 4 号基本金	664,000,000	664,000,000	0	
翌年度繰越収支差額	△ 8,523,033,469	△ 6,000,288,878	△ 2,522,744,591	
純資産の部合計	26,461,626,312	26,010,915,751	450,710,561	
負債及び純資産の部合計	29,562,059,772	29,146,954,499	415,105,273	

大学院シンポジウム

平成 28 年 7 月 31 日（日）横浜研修センター 7 階大会議室において、「研究能力を備えた高度な臨床歯科医養成のための大学院改革」をテーマとして講演会を開催しました。この事業は、神奈川歯科大学大学院 40 周年を記念し大学院運営委員会が中心となり、これからの大学院のあり方を考えるために開催されました。当日は、100 名程度の学内外からの参加者があり、高い関心を得ていたと同時に活発な討論が行われました。

午前中は、京都大学大学院医学研究科医療疫学分野の福原俊一教授に基調講演として、「世界レベルの研究者育成戦略」をテーマにご講演いただきました。福原教授は、臨床研究では、国内だけでなく世界的に活躍している研究者であり、臨床研究を行う上

での総論的に大切な事項を分かりやすく解説していただきました。特に、臨床研究には、統計や英語力よりも「研究デザイン」が最も重要であることを力説され、参加者に多くの示唆をいただきました。

午後はシンポジウムとして 4 名の演者から、今後の大学院の進むべきあり方について、それぞれの立場から報告がありました。平成 28 年 3 月に第 3 次大学院振興施策要綱が文部科学大臣により決定されており、日本の大学院は国際化や高度化が強く求められています。しかし大学院教育の充実が強力に求められています。しかし大学院教育の充実と歯学部教育の充実は一体でなければなりません。大学院教育に関してはほとんど話題がないのが現状でした。

カルフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部の小川隆広教授には、「グローバル化社会における大学院教育」と題して、アメリカにおける大学院の教育制度を紹介いただきました。東北大学大学院歯学研究科長の佐々木啓一教授からは、「歯学系大学院における質保証のための研究教育の充実方策」と題して国立大学の現状と東北大学大学院の特徴的な取り組みを紹介いただきました。松本歯科大学大学院歯学独立研究科長の高橋直之教授からは、「私立大学歯学研究科における人材養成目的と学位授与方針」と題して、私立での具体的な大学院教育の取り組みと同時に大学院教員のあり方が極めて重要であることが示されました。最後に、日本歯科総合研究機構の恒石美登里主任研究員からは、「歯科医療の現状と今後の動向」と題して、具

体的なデータを基に、今後の歯科医療が目指すべき方向性が示され、大学院が担わねばならない研究の方向性について考察を示されました。

シンポジウムのまとめの討論では、槻木研究科長から、世界的な視点や国内の現状を踏まえ、国立大学と私立大学の役割分担があり、それぞれの大学の個性に基づき人材養成目的の構築が重要である点が強調され、シンポジウムの成果を神奈川歯科大学大学院改組計画に反映していく旨が示されました。また、本シンポジウムは、今後の国際認証評価の導入も踏まえ、大学院教育に焦点をあてた点で、これまでにない先駆けとなる企画であると演者の先生方からも高く評価され、今後も継続していく必要性が確認され有意義な議論を経て終了しました。



神奈川県歯科医師会と包括連携協定を締結

平成 28 年 4 月 12 日（火）、本学と神奈川県歯科医師会は、包括的な連携のもと、相互の連携・協力により社会的役割、機能、資源等の有効活用を推進し地域社会の発展に寄与することを目的として協

定を締結いたしました。

調印式では、神奈川県歯科医師会鈴木駿介会長と本学の平田幸夫学長が調印を取り交わしました。

今後は、災害対策、医療の相互支援、保健及び福祉、医



療安全、医事紛争、学術研究及び教育、生涯学習、人材育成などについて連携・協力し、

積極的に推進していくこととなります。

新任教授紹介



神奈川歯科大学大学院
口腔科学講座・歯科形態学分野

教授 松尾 雅斗

私は三代続く歯科医師の家系ですが、祖父が地域歯科医療に、父が臨床歯科医学にと異なった道を歩んできました。私は歯科基礎医学の道を選び、解剖学を横地千仞先生、口腔解剖学を高橋和人先生という本学の誇る世界的な研究者に師事し学んでまいりました。

教育面では現在、歯の形態、咬合回復に必要な形態、歯と

歯周組織の常態、人体の構造実習・顎顔面と年間を通して歯科形態学系の教育に携わっています。研究面では歯周組織再生とインプラント周囲組織の骨形成と微小循環をテーマとし、臨床歯科医学のエビデンスを電子顕微鏡を使って解明しています。今後も学内外の先生方とコラボレーションして新しい研究・教育の形を発展させていきたいと考えております。

生粋の神奈川歯科大学育ちです。建学の精神にありますように、『生命に対する畏敬の念』を持ち、教育理念にあります『学をまなび、技を習い、人を識る愛の教育』を実践していきたいと考えております。



神奈川歯科大学大学院
口腔機能修復学講座 う蝕制御修復学分野

教授 向井 義晴

この度、神奈川歯科大学大学院歯学研究科口腔機能修復学講座う蝕制御修復学分野教授を拝命いたしました。全力を尽くして更なる教育・研究・臨床に精進いたす所存でございます。国家試験の難易度上昇、迫りくる2018年問題、高齢者型歯科需要の増加等、

問題山積ではございますが、精度の高い診療も、わかりやすく国家試験合格率アップにつながるような教育も、さらには国際誌にアクセプトされるような最新の研究も200%の下準備があつてなされるものと考えており、教室員一丸となって日々努力を重ねております。微力、浅学の身ではございますが、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜いますようよろしくお願い申し上げます。

全学防災訓練の実施 全学防災対策協議会

平成28年6月17日(金)全学防災訓練を実施致しました。今回は「消防計画に基づいた、実践に即した適切な訓練の開催」を目的に、学内14箇所の建物を中心に、「自衛消防組織編成」における「本部隊」、「地区隊長」、「避難誘導班」を軸とした訓練を実施しました。教職員・学生等、約1,300名が参加した今回の訓練では、棟ごとの安否確認

を約3分短縮する事ができ、避難誘導・通報連絡が上手く機能しました。続いての水消火器による消火訓練は、今回は学生代表36名に担って頂きました。「消火器を持つのは初めてです」という学生さんが多くいたことから、意識向上にも繋がったことと思います。最後に行った「倒壊建物からの救助訓練」においては、若干見づらかった事や説

明の声が聞こえないなどの反省点が挙げられました。その後の中央消防署坂本隊長の講評では「まだまだ真剣さが足りない」という厳しいご指摘も受けました。これらの反省を踏まえ、今後は、更に多くの教職員と学生に明確な役割を与える事で「真剣さ」を喚起し、十分な事前準備と検証を行った上で、訓練を開催致します。

また、今後は「予

防活動組織編成」と「自衛消防組織編成」を早急に整備、8月より棟ごとの現場研修を行う予定です。今後も教職員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



神奈川歯科大学第47回諸霊供養の会

第47回諸霊供養の会を平成28年4月16日(土)本学大講堂にて執り行いました。

当日は、平田学長と井野院長、ご来賓として沼田芳明横須賀副市長、会員様、ご遺族様及びその他ご来賓、教職員、歯学部3年生、短期大学部看護・衛生学科学生代表ら、総勢500名の方々にご参列賜りました。

梶木副学長による進行により、式典は厳かに始まりまして、高橋教授の開会のことばに続き、井野院長より、平成27年度にご成願された34名の方のご芳名拝読の後、その方々を加えた献体者ご芳名帳と法医学解剖・検案をさせて頂いた150名の方々のご芳名帳を、松尾教授と津田客員教授・長谷川教授の手で祭壇中央に

奉納致しました。

平田学長からご献体成願者1962柱の御霊と法医学解剖1370柱の御霊に対する慰霊の言葉に続き、歯学部3年生代表の阿部哲也さんと井上麻衣さんがご献体者様とご遺族様に対する深い感謝の気持ちが届められた弔辞を読み上げました。

会場には、華・麗様のボーカルと柳川様による生演奏が穏やかに奏でられ、参列者全員

が献花を行い、解剖諸霊位のご冥福を祈って礼拝致しました。

その後、昨年建立した解剖慰霊碑の二年祭を執り行い、平成28年度合同慰霊祭は無事滞りなく終了いたしました。



附属病院 新病院建築について — 進捗状況 Part II —

前回は、新病院のコンセプトと設計についてお話をしました。今回は、その後の進捗状況についてご報告します。平成 28 年 2 月 12 日（金）に地鎮祭も無事終わり、3 月から本格的な病院建築が開始しました。施工業者は五洋建設、設計と管理は、引き続き日揮が担当します。建築の大まかな流れとして、はじめに基礎工事、続いて躯体工事、最後に内装工事となる予定ですが、今はちょうど基礎工事の真只中という状況です。基礎

工事は、言うまでもなく病院本体を支える大切な土台づくりで、中でも横浜のマンションで話題になった杭打ちが最も重要な作業となります。クラウン製作に例えれば支台築造（ポスト形成）の作業に相当しますが、今回の新病院の規模ですと、134 本の杭を地中の支持層まで打ち込む必要があります。特に、新病院の敷地は、以前は海（入り江）で埋立地のため場所によっては、かなり深くまで打ち込む必要があり、長いものと

23 m に及んでいます。また掘削工事を進める中で、予想もしていない地中障害物と遭遇し、一時的に工事の進行が妨げられました。この障害物の多くはコンクリートの塊でしたが、以前この入り江に架かっていた栈橋の名残と思われる松杭も多数掘り出されています。いずれにしても、工期の若干の遅れは伴いまし

たが、すべての杭は問題なく打ち込まれました。これでひと安心です。10 月からは、いよいよ躯体工事も始まり、新病院の全容が、少しずつ皆様方の前にお目見えすることになります。平成 29 年 10 月（予定）の新病院竣工を目指し、今後とも教職員の方々のご協力を承りますよう宜しくお願い申し上げます。



杭打ち作業の状況



昭和 44 年の附属病院
目の前は海 そして問題の栈橋？

教育改革に関わる補助金の活用

平成 25 年度から本格的にスタートした歯学部教育改革に伴い、総合教育部では教育関連の補助金の獲得に努め、これまで総額 112,448,000 円の教育関連補助金の交付を受けることができました。これは、本学の教育改革の内容とスピードが文部科学省に高く評価された結果です。

補助金を活用し、これまでに多目的実習室、ラーニング

広場、スキルスラボ、WiFi、授業収録システム、KDU-LMS などを整備することができました。今後も、教育手法や評価方法の開発に役立つ補助金を積極的に活用していきます。

平成 27 年度に採択された教育関連補助金

- ・私立大学等改革総合支援事業
- ・私立大学等教育研究活性化

設備整備事業（授業収録・配信システム）

発など）

（教学 IR 室）

- ・未来経営戦略推進経費（職員の能力向上、LMS の開

教育改革に関わる補助金の活用

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
H25未来経営戦略推進経費 ※教育の質保証・グローバル対応の職員養成など				
補助金10%Up 改革総合支援事業 ※86/100点	改革総合支援事業 ※99/100点	改革総合支援事業 ※100/106点	改革総合支援事業 ※100/106点	改革総合支援事業 ※100/106点
教育研究施設整備 ※多目的実習室 50%補助	活性化設備整備事業 ※スキルスラボ 100%補助	活性化設備整備事業 ※授業収録システム 100%補助	活性化設備整備事業 ※100%補助	活性化設備整備事業 ※100%補助
施設整備費補助金 ※ラーニング広場 50%補助	ICT活用推進事業 ※WiFi整備 50%補助		教育研究施設整備 ※50%補助	ICT活用推進事業 ※50%補助

訃報

学園長菅谷房吉先生ご逝去



本学学園長であられた菅谷房吉先生は、かねてより病氣療養中のところ、去る 8 月 1 日永眠いたしました。享年 91 歳。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご冥福をお祈りいたし

ます。菅谷先生は神奈川県立神奈川歯科大学設立時より、本学に勤められ、庶務課長を経て昭和 48 年 11 月に事務局長に就任されました。また平成 6 年 7 月に理事長に就任され 10 年間理事長を務められました。理事長職を辞された後は、学園長として本法人にご貢献されました。

元学長山中彬先生ご逝去



神奈川歯科大学元学長であられた山中彬先生は、かねてより病氣療養中のところ、去る 6 月 30 日永眠いたしました。享年 93 歳。ここに生前のご厚誼を深謝し、謹んでご冥福をお祈り

いたします。山中先生は昭和 41 年 3 月に歯科理工学講座教授として教鞭をとられました。昭和 61 年 4 月神奈川歯科大学附属歯科技工専門学校校長に就任、昭和 63 年 7 月神奈川歯科大学学長に就任されました。平成 6 年 7 月学長職を辞された後は、名誉教授として本法人にご貢献されました。

横浜クリニックだより

平成 25 年より、地域医療連携室では、地域の医療機関と年に一回懇親会を開催しております。

開院記念日が 7 月 15 日であることから毎年 7 月に行いますが、今年は 7 月 13 日(水)に開催致しました。

懇親会も今年で第 4 回目を迎えました。地域の先生方が院内見学を希望された場合は、見学会も行っており、先生方が質問に答えられる様に各階に待機していただきました。

今年は懇親会にご出席の約半数の方が見学を希望されました。

診療科からは、内科、眼科、歯科口腔外科、矯正歯科の科長が出席し、治療内容、治療件数及び手術件数について報告を行いました。

また、昨年よりインプラント科科長の児玉利朗先生が台湾中山大学と開催しているインプラント歯周病の研修コース(2016 Japan advanced course)に参加している台湾の歯科医師の先生方にも一緒

に参加して頂きました。

今回は、中山大学の陳教授に中山大学についてのご紹介をして頂きました。

また、社団法人横浜市歯科医師会会長の杉山紀子先生、横浜市西区歯科医師会会長杉浦洋二先生からもご挨拶頂

き、職員一同と和やかに談笑して頂きました。

普段は、紹介状のやり取りだけですが、このような会でお会い出来ることは、相互理解を深め、より緊密なご支援とご協力を得られる良い機会になると思います。



横浜クリニック オープンセミナー

各セミナー 平成 28 年度日程表 9 月～3 月

オープンセミナー			
日 程	時 間	講 師	タイトル
2016 年 9 月 29 日(木)	18:00	市邊 義章	眼科と他科
2016 年 10 月 27 日(木)	18:00	木本 茂成	乳幼児歯科保健の基礎知識ならびに最近の知見について
2016 年 11 月 17 日(木)	18:00	浜田 信城	口腔感染症の細菌学的研究アプローチ
2016 年 12 月 1 日(木)	18:00	槻木 恵一	唾液腺は元気の源ー唾液腺で産生された脳由来神経栄養因子は海馬に影響するー
2017 年 1 月 12 日(木)	18:00	山本 利春	咀嚼機能から脳機能へ
2017 年 2 月 23 日(木)	18:00	櫻井 孝	歯科用コーンビーム CT および被曝の基本知識
2017 年 3 月 23 日(木)	18:00	高橋 俊介	歯肉血流量を指標とした生活習慣病のリスク分析の可能性
インプラントサテライトセミナー			
日 程	時 間	講 師	タイトル
2016 年 9 月 8 日(木)	18:00	児玉 利朗	インプラントの診査診断
2016 年 10 月 20 日(木)	18:00	児玉 利朗	インプラントの外科手術の基本
2016 年 11 月 24 日(木)	18:00	上野 大輔	インプラント審美修復(上野)
2016 年 12 月 22 日(木)	18:00	児玉 利朗	骨造成の基礎と臨床(上野)
2017 年 1 月 19 日(木)	18:00	上野 大輔	インプラント手術の合併症
2017 年 2 月 16 日(木)	18:00	児玉 利朗	インプラント埋入時期と荷重プロトコル(上野)
2017 年 3 月 16 日(木)	18:00	上野 大輔	インプラントにおける軟組織の対応
矯正サテライトセミナー			
日 程	時 間	講 師	タイトル
2016 年 9 月 1 日(木)	18:00	不島 健持	高齢者の矯正治療
2016 年 10 月 6 日(木)	18:00	不島 健持	咀嚼器官(顎関節、咀嚼筋、靱帯)の機能解剖
2016 年 11 月 10 日(木)	18:00	不島 健持	顎関節内障と治療顎位
2016 年 12 月 8 日(木)	18:00	不島 健持	滑膜性関節としての顎関節
2017 年 2 月 9 日(木)	18:00	不島 健持	Mandibular Animation を用いた下顎運動の理解
2017 年 3 月 2 日(木)	18:00	不島 健持	下顎運動の中樞制御機構
歯科医師のための内科学			
日 程	時 間	講 師	タイトル
2016 年 9 月 15 日(木)	18:00	栗橋 健夫	睡眠医学講座～ヒトはなぜ眠るのか？(睡眠時無呼吸症候群と歯科治療)
2016 年 10 月 13 日(木)	18:00	栗橋 健夫	脳血管障害～虚血性脳血管障害が圧倒的に多いのは？
2016 年 11 月 17 日(木)	18:00	栗橋 健夫	腎疾患～意外に多い慢性腎臓病ー投薬上の問題とは？
2016 年 12 月 15 日(木)	18:00	栗橋 健夫	呼吸器疾患～喘息は治らない？
2017 年 2 月 2 日(木)	18:00	栗橋 健夫	消化器疾患～歯科医療が総合消化器科のパイロット！
2017 年 3 月 9 日(木)	18:00	栗橋 健夫	循環器疾患～虚血性心疾患と不整脈、歯科治療上の注意点

※ 11/17 のみ会場が 6F 教室

すべてのセミナーが、歯科医師会生涯研修ポイントの習得が可能です。

教学部だより

歯学部

平成 28 年度

第 1 回授業参観・学年別懇談会

平成 28 年 6 月 9 日（木）、神奈川歯科大学にて第 1 回授業参観・学年別懇談会が開催され、約 142 組の保護者の皆様にご出席いただきました。午前には各学年の講義や実習を見学していただき、午後の全体説明会では平田学長や教学部教務担当部長と学生担当部長より挨拶、カリキュラムについての説明がありました。その後、学年別懇談会が行われ、各学年主任・担任の紹介、授業や学生のサポート体制について詳しく説明がありました。

平成 27 年度「特待生」表彰式

平成 28 年 4 月 19 日（火）、前年度の各学年成績優秀者 14 名が「特待生」として表彰され、平田幸夫学長より一人ひとりに賞状が手渡されました。

「特待生」は、年間成績が特に優秀であった者に対し奨学金として次年度の授業料が減免される制度で、学生にとっては勉学の大きな励みとなっています。

【特待生】2 年：葛生悠貴、鈴木大樹、柳川亜美、3 年：任へり、入澤貴志、4 年：上田晴香、高碩璟、陳怡臻、5 年：金泰潤、齋木林太郎、谷川高、6 年：有吉誠一、西村允貴、本間優太

第 48 回全日本歯科学学生総合体育大会の団結式

平成 28 年 7 月 12 日（火）、学内にて第 48 回全日本歯科学学生総合体育大会の団結式が行われました。教職員・学生

ともに同じポロシャツに身を包み、平田学長から激励の言葉をいただき、学生代表の選手宣誓により大会での活躍を誓いました。



歯学部 団結式



平成 27 年度特待生

短期大学部

平成 28 年度

神奈川歯科大学短期大学部 保護者会総会・懇親会開催

平成 28 年 6 月 1 日（水）15 時より、本学学生食堂横須賀ハーバーに於いて平成 28 年度保護者会総会が開催されました。27 年度坪井美砂子会長（歯科衛生学科）から 28 年度中野智美会長（看護学科）にバトンタッチされ、一般保護者 6 名、役員 15 名、教員 2 名が参加しました。

総会に先立ち、長谷短期大学部学長より挨拶を頂き短期大学部の現状や学習環境の整備等近況が報告されました。総会後の教員との懇親会には、授業や実習を終えた教員 27 名が加わり総勢 48 名が参加。軽食を頂きながら、保護

者と教員が共に、日頃の学生の様子などを情報共有しつつ和やかな時間を過ごすことができました。

平成 27 年度成績優秀者表彰

平成 28 年 5 月 25 日（水）、前年度の各学科学年成績優秀者 4 名が表彰されました。

【歯科衛生学科】2 年：平本理恵、3 年：神谷美也子

【看護学科】2 年：神山遥、3 年：高野由美子

高雄医学大学からの訪問

平成 28 年 7 月 4 日（月）から 4 日間、高雄医学大学口腔保健学科の教員と学生 6 名が短期大学部を訪問されました。衛生学科のスクーリング実習の見学、看護学科の高齢者体験実習、実習先の特別養護老人ホームや障害者

施設の訪問、本学の附属病院の見学などを行いました。

また短期大学部の学生や歯学部在学の台湾留学生と交流し、国際的な新たな視点で今

自分が学んでいることの意味、自分の将来について深く考えるととても有意義な時間となりました。



平成 27 年度成績優秀者



高雄医学大学教員・学生が本学附属病院を見学

【歯学部】オープンキャンパス開催日程

日 程	内 容
2016年 9月25日(日)	・学校説明 ・入学ストーリー ・歯科医師体験実習または模擬講義 ・施設見学
2016年11月27日(日)	・学食体験 ・先輩と話そうコーナー ・個別相談等



※全日 13:00～16:00【事前予約制】
※詳細はHP、スマホサイトでご確認ください

【短期大学部】オープンキャンパス開催日程

日 程	内 容
2016年 9月11日(日)	・体験授業 ・学内見学 ・学科説明 ・個別相談
2017年 3月19日(日)	・入試説明 ・先輩と話そう！

※全日 13:00～16:00【事前予約制】
※詳細はHP、スマホサイトでご確認ください

【短期大学部】ミニオープンキャンパス開催日程

日 程	内 容
2016年11月20日(日)	・施設見学 ・個別相談
2016年12月18日(日)	



※全日 13:00～16:00【事前予約制】
※詳細はHP、スマホサイトでご確認ください

歯学部 2017 年度 入学試験実施一覧

歯学部 定員：110名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
推薦 (公募制・指定校制)	2016年 11月13日(日)	2016年 11月16日(水)
卒業生子女 1期	2016年 11月13日(日)	2016年 11月16日(水)
卒業生子女 2期	2016年 12月11日(日)	2016年 12月14日(水)
帰国子女 外国人留学生	2016年 11月13日(日)	2016年 11月16日(水)
一般 1期	2017年 1月28日(土) 1月29日(日)	2017年 2月 1日(水)
一般 2期	2017年 2月19日(日)	2017年 2月22日(水)
一般 3期	2017年 3月12日(日)	2017年 3月15日(水)
編入 1期	2016年 11月13日(日)	2016年 11月16日(水)
編入 2期	2016年 12月11日(日)	2016年 12月14日(水)
編入 3期	2017年 2月19日(日)	2017年 2月22日(水)
編入 4期	2017年 3月12日(日)	2017年 3月15日(水)
試験区分	試験日	合格発表日
AO 入試	2016年 9月 4日(日)	2016年 9月 7日(水)
大学入試センター試験 利用 1期	2017年 1月28日(土)	成績開示後に行います。
大学入試センター試験 利用 2期	2017年 2月19日(日)	2017年 2月22日(水)
外国人留学生 特別入学試験	2016年 8月 6日(土)	2016年 8月12日(金)

※詳細はホームページをご覧ください

短期大学部 2017 年度 入学試験実施一覧

歯科衛生学科 定員：120名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
推薦Ⅰ期(指定校)	2016年 10月30日(日)	2016年 11月 2日(水)
推薦Ⅰ期(公募)		
推薦Ⅱ期(指定校)	2016年 12月11日(日)	2016年 12月14日(水)
推薦Ⅱ期(公募)		
一般	2017年 1月29日(日)	2017年 2月 1日(水)
特待生	2017年 1月29日(日)	2017年 2月 1日(水)
社会人	2016年 10月30日(日)	2016年 11月 2日(水)
試験区分	試験日	合格発表日
AO 1期	2016年 8月21日(日)	2016年 9月 7日(水)
AO 2期	2016年 9月25日(日)	2016年 10月12日(水)
AO 3期	個別にお知らせいたします	

※詳細はホームページをご覧ください

看護学科 定員：80名 男女		
試験区分	試験日	合格発表
推薦Ⅰ期(指定校)	2016年 10月30日(日)	2016年 11月 2日(水)
推薦Ⅰ期(公募)		
推薦Ⅱ期(指定校)	2016年 12月11日(日)	2016年 12月14日(水)
推薦Ⅱ期(公募)		
一般	2017年 1月29日(日)	2017年 2月 1日(水)
特待生	2017年 1月29日(日)	2017年 2月 1日(水)
社会人	2016年 10月30日(日)	2016年 11月 2日(水)
試験区分	試験日	合格発表日
AO 1期	2016年 9月25日(日)	2016年 10月12日(水)
AO 2期	2017年 3月 5日(日)	2017年 3月14日(火)



第52回 稲岡祭 「World Wide」
2016.11.5(土)